

Topic

COLUMN: 先生紹介 ▶ 斉藤 悠晟 (今福教室)



勉強熱心ではない僕が四條畷に合格した秘訣とは?

初めましてこんにちは。自己紹介が遅れましたが、去年の10月頃から非常勤講師として開智総合学院今福教室でお仕事させていただいております。斉藤悠晟といいます。僕は現在大学3年生で応用生命という分野を専攻しています。高校受験を控えている生徒さんに向けて、僕の受験生の思い出話と、あまり参考にならないかも知れませんが、自分の勉強の仕方というものをここに綴らせていただきます。

僕は勉強熱心な生徒ではありませんでした。不真面目な生徒でもありませんでしたが、勉強に楽しみもモチベーションもなく、進学塾には通っていましたが宿題はやらず、次第にさぼり始めるようになり、中学2年生の後半に通っていた進学塾もやめてしまいました。中学3年生になり、周りが勉強を意識し始めて熱意を傾けることに反比例するように僕は勉強をしなくなりました。三者懇談では「高校はまあまあ賢かっ

たらどこでもいい。」と先生に言い、その先生は僕を可愛がってくれていたのでも、それを聞いて残念そうにしていたのもよく覚えています。僕が受験勉強に勤しむようになったのは11月に入ってからです。父親が公立高校の過去問を買ってくれたので試しに解いてみると、数学が全く解けず、相当な焦りを覚えました。その時の志望校は大阪府立四條畷高校でした。理由は特になく、家から近いらしく、父親が良い高校だと言っていたから程度の理由でした。過去問に初めて手をつけて、志望校に受かるのに必要だと言われている点数の半分もとれていませんでした。僕は授業態度も良くなかったので内申点も同じ成績の人達よりも低く、なおさらビハインドがありました。そこの差を3カ月足らずで埋めなければならないと実感して、僕は受験勉強を始めました。

気を付けたことは、夜早く寝ること、過去問を反復することの2点でした。ちなみに朝早くに勉強するのも試しましたが、起きられませんでした。家の都合で、通っていた中学までは自転車です。片道45分かかっていたので他の人達よりも

少し不利なところもありましたが、勉強する時はしっかり勉強していました。授業内申点は諦めるのはまだ早いと思い、挙手して発表もよくしました。他の進学塾の予想問題を貰える講座や無料開講の小論文講座を受け、自分に必要なものだけを取り入れ、学校の先生にも頼んで特別に問題を刷ってもらいました。利用できることはすべて利用して一問でも多くの問題に触れ、一回でも多く繰り返し解く、最後まであきらめられない。これが僕の当時の勉強についての意識だったと思います。

高校の3年間は、思い出深くとも楽しい色濃い3年間になると思います。その3年間でどこで過ごすか、これからの努力で選択肢が増えると思えば、頑張ろうという気力も湧くと思います。「今日はこれを勉強しよう。」というのを毎日1つ考え、それを人に説明できるまで勉強してみてください。僕が四條畷高校の文理学科に合格することは誰にも予想できなかったと思いますが、僕は決してあきらめられないという自信がありました。皆さんもそれだけの自信を得るために、コツコツ頑張ってください。



対馬のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 対馬 秀彦 (カイチ予備校、エニグマ)

「エニグマ」という名前

今年度より、カイチでは谷町九丁目に「エニグマ(Enigma)」という新しい教室を立ち上げました。6年制私学の生徒さんが中心に通って下さっており、京都大学、医学部など難関大突破を目指して日々、勉強されています。今回は、なぜ「エニグマ」という教室にしたのかをご紹介します。

皆さんは、チューリングという名前の数学者をご存知でしょうか。数年前、彼の人生を元に作られた「イミテーション・ゲーム」という映画がヒットしましたので、見られた方もいるかもしれません。

チューリングは、1902年にイギリスで生まれ、数学基礎論や暗号解読で重要な仕事をした数学者です。ナチスの暗号「エニグマ」を解読した人としても知られています。彼が中心になって行ったこの暗号解読がなければ、戦争終結は1年以上遅れたであろうという専門家もいます。また、コンピュータが知性を持つのかどうかについても論文を書いていた彼は、人工知能の父とい

言われ方をすることもあります。

そんな類まれな才能の持ち主でしたが、チューリングの人生は幸せなものではありませんでした。まず、エニグマ解読に関する彼の業績は、軍事機密であったため、世の中に知られるようになったのは彼の死後ずっと後でした。また、彼は当時違法であった同性愛者であったため、逮捕もされます。41歳で亡くなりますが、自殺であったと言われていました。

チューリングが解読した暗号が「エニグマ」だったわけですが、この「エニグマ」という言葉はギリシャ語を語源とし、「謎」や「パズル」を意味します。若き数学者が命をかけて挑んだ謎、それが「エニグマ」だったわけです。

人工知能が人間の職を奪い、グローバル化がとてつもないスピードで進む時代。日本の将来を支えていくような優秀な人には、ぜひ大きな「謎」に挑む気概を持ってほしい、そういう思

いで教室名を「エニグマ」にしました。

現在、コンピュータサイエンスの最高峰の賞は、チューリングの名にちなんで「チューリング賞」と名づけられています。ノーベル賞と同等の価値があるとも言われるこの賞ですが、残念ながらまだ日本からの受賞者はいません。

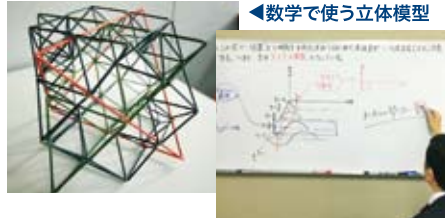
この教室で学んだ生徒の中から、日本人初のチューリング賞受賞者が出たらいいなあ、そんなことを思いながら日々、生徒達と難関大の問題に取り組んでいます。

▼教室の様子:少人数のアットホームな教室です



分子模型のオブジェ▶

◀数学で使う立体模型



授業風景:難しそうに見えますが、▲教科書事項の確認してます

カイチからのお知らせ

- 学習部は7月22日(月)~8月24日(土)は夏期講習期間となり、通常授業と指導曜日・時間が異なります。詳しくは夏期講習のお知らせに記載しております。
- 夏期講習欠席生のために補講日を設定しています。補講日時については講習会のお知らせをご参照ください。
- 8月12日(月)~8月17日(土)は休講日とさせていただきます。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

August 2019 Vol. 84
毎月10日発行

【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラトWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220

【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563



高木 秀章(塾長)

「このままで志望校に合格できるのか?」 ここでもう一度、夏期講習の目的を思いだそう!



夏期講習真っ盛りですがみなさんどうですか?
「毎日毎日、宿題でうんざり。まだ学校の宿題も山ほど残ってるのに…」
「毎日小テストに追われて、最初は頑張ってたけど少しやつつになってきた」
夏期講習も半分が過ぎてこんな心境になっていませんか?
もう一度、夏期講習の目的を思い出そう。夏期講習の目的は第一志望校合格です。そのためには、夏期講習最終日の模試で自己ベストを取りガッツポーズにならなければなりません。

「今のままで、8月24日の模擬試験は大丈夫だろうか?志望校に本当に合格できるのだろうか。」自分の胸に手を当てて考えてみよう。

もし答えが「NO」ならば、今すぐ、もう一度、自分との戦いに闘志を燃やしてください。まだ、間に合います。

後で後悔しても、中3の夏期講習は二度と返ってきません。絶対後悔しないように、今ここでできる努力を全てやろう! みんなで絶対に成績を上げてやろう。

「勉強しても意味がない」「勉強は社会に出て役に立たない」と冷めたふりをして言う人がいるかも知れません。

しかし、先生ははっきりとそれを否定します。今、皆さんが受験を通してやっている、目標を持ち計画を立て努力を続けること。それは、社会の発展の法則です。世の中のありとあらゆるもの、国も会社も、オリンピックも、家を軒建てるにしても、目標に基づき計画を立て、たゆまぬ努力で実現されています。

もしかすると、みんなにとって勉強は楽しくないものかも知れません。

でも、何かに興味を持ち、夢中で取り組むようになったとき、勉強で身に付いた学力が必ず大きな助けとなります。そして、受験勉強を通して行った、目標を持ち計画を立て、自分に負けずに努力する姿勢は、みんなの夢を実現する方法そのものになります。

そのことは、先生がこのカイチの仕事をする中で痛感してきたことだし、みんなに最も伝えたいことでもあります。

今の努力は受験においても将来においても一つも無駄になりません。みんな、ここでもう一度気持ちを引き締め、目標と向き合おう。

それから、まだクラブを頑張っている人達。カイチ生の多くがクラブを引退し、本格的に受験勉強に取り組む中、焦りを感じているかも知れませんが、でも、勉強とクラブの両方が大切と考えているなら、両方を最後までやり抜いてやると覚悟を決めてください。

これからみんなが歩む人生において「答えを1つ選べ」という問題は出題されません。技術革新が進む新しい時代は尚更です。どれも大切なら、全部を手に入れる努力をしてください。若者はそれぐらい欲張りな方が素敵です。もし勉強とクラブの両方で悩んでいるなら教室の先生に相談してみてください。きっと良い解決策が見つかるはずですよ。

君達は可能性の塊です。どうか、自分はこんなものと小さくまとまらず、常に少し高い目標を持ち続け、それを見失わず努力を続けてください。繰り返し言いますが、その努力は1つ残らずみんなの中で、将来を支える力になります。

夏期講習も後半。最後まで悔いが残らないように全力で頑張ろう。

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



やってきました酷暑の夏! 関目教室は、今年も夏期講習を走り切ります!

小幡 翔太郎 (関目教室)

皆様、こんにちは。関目教室の小幡です。今年の夏も、外は非常に暑いですが、関目教室内はクーラーと、私のダジャレで良い感じに冷えております。地理で気候帯を学習した中1が「小幡先生の授業は、寒帯にいるようだ」と言っておりました…。それはさておき、今年から新たに島先生、兼田先生、武田先生、野口先生、中村先生を迎え、フレッシュな陣営で運営しております。今回は、そんな関目教室の様子をお伝えします。



▲関目教室担当の、フレッシュな先生達!

先日、パスカルキッズに通っている小3の女の子が「何でこのクラス、パスカルキッズってなの?」と質問してきました。私はドヤ顔で「パスカルって、偉い学者さんがいたからや」と答えました。次に「パスカルって、何で偉いん?」ときたので、「算数や物理で、いろんな法則を見つけたからや」と返事。それに対してさらに「パスカルって、どうやってそんな見つけるほど賢くなったん?」と突っ込まれ、答えに窮してしまいました。知的好奇心がとても旺盛な彼女は、様々なモノ・技術について説明している『学研まんがひみつシリーズ』を読み漁っていて、パスカルの読書のときもよく学校から借りて持ってきていました。「なんで?」「知りたい!」と思う気持ちは、学校で勉強する際、あるいは大学で研究する際に、原動力となります。これからも大切にしていってほしいと思います。



▲小4クラスの授業の様子。演習に臨む姿は、真剣そのもの!

さて、中学部では夏期講習の真っ最中です。朝は元気いっぱいな小学部の授業から始まり、昼は受験に向けて猛勉強中の中学3年生、夕方には珠算・パスカル・トーキングキッズの授業、さらに夜には中学1・2年生の講習会があり、先生達も授業やその準備に頑張っています。関目教室の生徒達は、ハードな部活に所属する生徒がたくさんいます。部活との両立は、人生で一番初めに遭遇する壁なのではないでしょうか? 特に中1生の保護者の方は、勉強に部活に、へ口へ口になっているお子さんを見ると、不安だと思えます。しかし、この夏を乗り切れば、子供達は格段にタフになります。中1クラスのとなりの教室で、たくましい姿で授業を受けている中2生達が、去年はへろっへろだったことを、私達は知っています。「あのしんどい夏を乗り越えてんから、これくらい大丈夫!」という自信を身に付け、一回り大きくなってもらえるよう指導していきますので、ご家庭でのサポートの程、何卒よろしくお願ひいたします。

▲中3生の夏の課題は「理解箇所を残さない」こと!

今年は大大会で勝ち進んでいる部活も多いようです。「たぶん今週末に引退やわ…。相手強いもん。」と話していた中3生が、「勝ったから、次に進むことになって、引退伸びた!」と話に来ることもしばしば。その分、勉強との両立も大変です。しかし、部活と重なって授業に來れないときには、夜に自習に来るなどし、勉強と部活の両立をしっかりとしようとしている生徒が多く、非常に頼もしさを感じています。夜に開放している自習室は、いつも中3生で満員。彼ら・彼女らにずっと話しているのは「メリハリをつける」ということ。

部活のときは目の前の活動を一生懸命し、勉強しているときは勉強を一生懸命頑張してほしい。「部活がしんどいから宿題・勉強ができない…」というのは自分への言い訳。「部活大変だった。でも、勉強も頑張る!」と切り替えて頑張る人には、結果が必ず付いてきます。また、高校、大学、社会人と成長していくにあたり、忙しくて押しつぶされそうになったとき、切り替える力が必ず役に立ちます。



▲中3の授業中の一コマ。外も暑いですが、授業もアツい!

皆さんに「いろいろ頑張ろうね!」と言っているうちに、私も頑張らねばという気になってきたので、夏期講習前に目標を定めました。「悲観的に準備して、楽観的に行動する」これは、陸軍で大本営作戦参謀も務め、戦後は伊藤忠商事会長まで務めた瀬島隆三氏が心構えにしていた言葉だそうです。あらゆる事態を想定した上で万全の準備をし、事に及んでは悲観的にならず、できる範囲で最高のパフォーマンスを発揮する。これが私の夏の目標です。皆さんとともに頑張りますので、一緒に暑い夏を乗り切ってください!

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



今からでも間に合う 夏期講習活用法

熊谷 周作 (今津教室)

皆さん、今年の夏期講習も終盤になりましたが、いかがお過ごしでしょうか?夏期講習前には、今年の夏は…と何かと目標を立てて夏期講習に入った人も多いかと思いますが、目標達成の程はいかがでしょうか?中3生においては、夏期講習前の三者面談で、目標校までの偏差値の差などを挙げられて、その差を埋めるべく取り掛かっている生徒もいるのではないのでしょうか?夏期講習の終わりには模擬試験が待っています。ここでは是非でも結果を残したい生徒必見です!『今からでも遅くはない、これだけはやっておきたい』を紹介したいと思います。



1. 夏期講習のやるべきリストをやり込む

夏期講習では、やるべきリストを挙げています。適当にやっても終わらすことができません。適当にやっても最後の模擬テストで結果は出せませんし、2学期以降のテストで良い点数は取れません。今からでも遅くはありません。適当にやってしまったなと感じている教材があれば、もう一度解き直すことをお勧めします。

また、学校の宿題を確認することも忘れないようにして下さい。休み明けには宿題テストに、実力テストがあります。塾に通っていても高得点を取る子もいます。それは、今持っている教材を完璧に使いこなしている子だと思うので、自分に負けないように、もう一度確認してみましょう。



2. 苦手教科こそ毎日頑張る

夏期講習期間はいつもより自由に使える時間が増えます。ここで取り組んでもらいたいことは、やはり苦手教科の克服です。しかし、苦手な教科は長時間頑張ることができず、やることそのものが億劫になります。そこで、毎日少しずつ取り組むことをお勧めします。そうすることで学習の定着は圧倒的に良くなります。ただ、どうしてもやる気が湧かないと言う人もいますのでその時は自習室を利用し、やらざるを得ない状況を無理矢理作ってしまうのが良いと思います。自習室に來れば、学習が進まないとき質問することもでき、学習効率も上がります。



3. 模擬テスト対策

残り1週間でなんとか模試で点数を上げたいという時には、過去問演習をお勧めします。ただし、ただ単に解くだけでは力はつきません。間違い直しが過去問演習の命です。解説を読んで、納得するだけでは力はつきません。しっかりと解き直して、『わかる⇒覚える⇒解ける』の解ける段階まで、理解を昇華させてください。そうすることによって、点数は確実に上がります。どうしても苦手な問題は作問依頼を行い、部分的に補強をしていけば良いと思います。とにかく、ここまでしっかりと勉強してきたのであれば、最後の仕上げに過去問演習というアウトプットの徹底をお勧めします。

夏期講習も、もう半分を超えました。夏期講習のやり切り課題が終わっていない生徒は、必ず自習や補習日を利用し、やり切った担当の先生に提出をして下さい。このやり切る癖をつけることが、今後の成績に大きく影響してきます。今年の夏休みはしっかりとやれたと胸を張れるようにしていきましょう。

